

# グリーンイ アルファ

平成18年10月1日発行

財団法人 さいたま緑のトラスト協会

〒330-9301  
さいたま市浦和区高砂3-15-1  
埼玉県環境部みどり自然課内  
電話 048(824)3661  
FAX 048(830)4775  
E-mail a3140-02@pref.saitama.jp  
HP <http://www.saitama-greenerytrust.com/>

●会費年額

個人	大人	1人	1,500円
	小・中・高校生	1人	1,000円
家族		1家族	3,000円
グループ(5人以上)		1人	1,000円
法人		1口	10,000円

再生紙使用



里山のタカ-オオタカの水浴び (内田博撮影)

## なぜ緑のトラスト地が必要なのか

### 1. 「半」自然林

身近な自然である雑木林は、「半」自然の林である。なぜ、「半」自然なのか。下刈りや落ち葉かき、15〜30年に1度の定期的な伐採など人の手が加わるが、伐採後萌芽(ぼうが)により自力で再生するからである。萌芽は間引きされ、やがて幹となる。雑木林は、コナラ、クヌギ、エゴノキ、シデ、アオハダなどの落葉樹で構成種される。落ち葉かきは林の栄養を奪い、伐採は15〜30年の蓄えを持ち去る。雑木林はこのような人為的になく乱に強く、萌芽再生力の強い種で構成されている。

### 2. 持続可能な利用

下刈りや落ち葉かきが堆肥を作る。定期的な伐採により、薪や炭、楮(ほだ)木が得られる。堆肥は肥料となり、薪や炭は燃料となる。楮木はシイタケ栽培に使われる。これらは日常生活の必需品であり、貴重な現金収入源である。雑木林は生活の糧であった。したがって、かく乱や略奪はするが、決して使い過ぎることなく慈しみ大切に利用した。これが持続可能な利用である。人は自然と共生していた。

### 3. 雑木林の生物多様性

生物多様性とは、生態系や種数、遺伝子の数や頻度などを含む自然の豊かさの度合いのことである。豊かな環境はたくさんさんの生息場所を用意し、多くの種や個体の生息が可能となる。個体数が多ければ遺伝情報も多様化する。自然の豊かさとは、多様性の豊かさである。大面積では、人手の加わらない自然林(＝原生林)の多様性が高い。しかし、小面積では、雑木林の多様性が高い。生活の糧を得るためのかく乱が、モザイク状の多様な生息環境を生むためである。

### 4. 多様性の保全

敗戦後、生活が変り雑木林は不要となった。都市部では、雑木林は道路や宅地に変わり、激減した。残された林は放置され、常緑樹が侵入した。面積の縮小と質的变化により、雑木林の多様性は低下した。雑木林が常緑樹林に遷移(＝自然に移り変わる)することは、カタクリなど雑木林特有の種の絶滅につながる。また、緑地面積の減少は多様性の低下を加速させる。緑のトラスト地は都市部の小さな緑を守る。作業は遷移を止め、林の質的低下を防ぐ。保全とは持続可能な利用であり、自然と人の共生である。点在する緑のトラスト地は生き物のネットワークの基点となる。

(さいたま緑のトラスト協会理事 大堀 聡)



森の親子の夏まつり・ボランティア  
スタッフ全体会・フォーラム(報告)



何を作ろうかな? 小枝で枝アートを作成中



上田知事も募金をよびかけてくれました

よしず編み、丸太切りや葉っぱを使った遊び、自然素材のクラフト体験に参加した子供たちの笑顔に元気づけられた一日でした。全体会・フォーラムでは進士理事長の講話の後、ボランティアスタッフ全体会を行いました。夏

今年は子供達に身近な自然と親しんでもらうために、埼玉県と共催でガールスカウト日本連盟埼玉県支部、ライオンズクラブ国際協会330-C地区、(社)埼玉県造園業協会等(後援団体はJFPに掲載)の協力の下、スタッフ数約百四十九人で、七月二十九日(土)に「森の親子の夏まつり」を実施しました。子供達に道端に落ちている枝や葉・実を使って遊ぶ自然体験を通して、緑のトラスト運動の支援の輪を広げるよい機会になりました。竹のブンブンゴマや

まつりにご協力いただきました皆様、暑い中、本当にありがとうございます。暑い中、



トラスト四号地(飯能河原周辺河岸緑地)の一斉清掃及び夏休み自由研究ガイド(報告)



ゴミ拾いをしてきれいな河原になりました

トラスト四号地(飯能河原周辺河岸緑地)では、毎年夏休みの最初と最後の日曜日に、地元の日曜日に、地元の三丁目自治会・子ども会との共催で、バーベキューなどによるゴミの多い河原を中心に一斉清掃を行っています。

今年、七月二十三日(日)と八月二十七日(日)の早朝七時から行われ、地元の方々、協会ボランティアスタッフ、市職員など、それぞれ約四十人、約五十人の人が集まり、一時間ほど、ゴミ拾いを行いました。自転車など大物も撤去し、ゴミを捨てにくいきれいな河原になりました。

また、七月二十三日の清掃には、初めての試みとして、小学生の親子を対象に「夏休み自由研究ガイド」として、自由研究テーマの紹介とトラスト地の自然観察を行いました。霧雨の降る中、参加者は六人でしたが、やがて天気も回復し、自然観察指導員でもあるボランティアスタッフの説明を聞いたり、チョコ

ウヤトンボなどをつかまえながら、四号地を回りました。研究はまとまったでしょうか。(四号地ボランティアスタッフ 大石章)



(トラスト運動普及啓発活動)夏休みちびっ子広場とハートフルフェスタ2006に参加しました



何がみえるかな?

七月二十二日(土)・二十三日(日)大宮ソニックシティで行われた(財)埼玉県産業文化センター主催の夏休みちびっ子広場と、九月十八日(月)埼玉スタジアムで行われた(社)日本青年会議所主催のハートフルフェスタ2006に参加しました。

トラスト協会のテントの前では、竹で作ったブービー笛で遊んだり、顕微鏡をのぞく親子連れで賑わいました。



さいたま緑のトラスト運動 指導者養成研修始まる!

九月十七日(日)、二十八日(木)、第一・二回の養成研修が行われました。両日とも午前中は北本自然観察公園・見沼周辺斜面林の自然観察、午後は施設内での講義や実技という日程でした。

観察会では牧野先生の興味を掻き立てる解説に感銘。樹木の科・属名・種名という図鑑的な説明ではなく、名の由来や特徴そして匂



第1回研修会にて(北本市・埼玉県自然学習センター)

いを嗅いだり触れたりと五感で接する樹木との触れ合いに、日頃漠然と見ていた木々の営みに一層の身近さを感じ取りました。第一回の講義は、参加者の目線に立ち教えるより伝えるを重視すべきと強調される指導のポイントで始まり、次いで猛禽類の生態から里山の解説、そして当協会の生い立ちと行政との連携の重要性に関するものでした。

第二回は、自然体験活動の理念と何ゆえ自然へ導くことが重要かををCONE自然体験活動推進協議会の棚橋トレーナーの熱意溢れる講義で始まり、この運動の現状と課題、里山の現状と今後の課題へと進みました。

受講者の一人として最後まで頑張り、修了証を手にしたと誓っております。

(研修生 西川一哉)

### 再度研修に参加して

先の研修はあっという間に終わった。しかし内容は充実しており、指導者としての自覚には充分だった。自然観察、演習、現地調査等3ヶ月6回で二通り学習は出来たと思う。

以降の活動にどれ程役に立った事か。勿論親切丁寧な諸先生の指導があったからだし、企画にあたった事務局の方々の苦労にも感謝している。

視て、知って、体験する活動を通して、全面の指導には殊の外厳しかったと記憶している。また、この研修で多くの友達が出来た。活動中の我が身の拙なさや非大きさを補ってくれたのも仲間の皆さんだった。こういう機会を大切にしたい。

今回は先の復習の機会ともなったが、危機管理のマニュアルや応急救急の手当ても加わり、より充実した研修となっている。大いに期待している。そしてトラスト運動の体験を通して心豊かなボランティアスタッフでありたいと願っている。

(四号地ボランティアスタッフ 新井勝)

### イベントのお知らせ

参加を希望される方は、電話で協会事務局(電話

〇四八—八二四—三三六六一)までお申し込み下さい。

**狭山丘陵雑魚入り樹林地(トラスト二号地)の森林保全作業・自然観察会**

地元堀口自治会、堀口天満天神社氏子会、ガールスカウト日本連盟埼玉県支部等と共に、鳥の巣箱の設置や下草刈りなどの森林保全作業を実施し、昼食をはさんで自然観察会を行います。

日時 十一月五日(日)午前十時から午後三時まで(雨天中止)

集合 堀口天満天神社(西武狭山線「西武球場前駅」下車徒歩十五分)

午前十時集合

持ち物 軍手、昼食、鎌、雨具、作業できる服装でご参加ください

### 自然に親しむ会

「小川原家屋敷林(トラスト七号地)及びアーバンみらい遊水池の冬鳥を探す」

さいたま市岩槻区内のトラスト七号地は地主小川原氏により寄贈された屋敷林です。馬込地区は、綾瀬川と元荒川に挟まれた台地に位置し、豊かな自然環境が数多く残されています。お近くの方は秋を探しにトラスト七号地に足を運んでみてはいかがでしょう。

日時 十一月十一日(土)

午前八時半から正午まで(雨天中止)当日参加可

集合 JR宇都宮線「蓮田駅」東口か東武野田線「岩槻駅」午前八時半集合(またはトラスト七号地午前九時集合)

持ち物 筆記用具、飲物、双眼鏡、雨具等

### 武蔵嵐山溪谷周辺樹林地(トラスト三号地)の植樹・森林保全作業

ガールスカウト日本連盟埼玉県支部、ライオンズクラブ国際協会330-C地区、(社)埼玉県造園業協会等の協力を得て、植樹と下草刈りなどの森林保全作業を実施します。京都の嵐山にたとえられた武蔵嵐山で植樹と里山を守る活動(下草刈り等)に参加してみませんか。

日時 十一月二十六日(日) 午前十時から  
午後四時まで(雨天中止)

集合 緑のトラスト保全第3号地(嵐山町) 午前十時集合

費用 植樹は一万円以上(植樹寄付金、記念プレート費含む)

定員 下草狩りは三十人(申し込み順)  
持ち物 軍手、昼食、鎌、雨具、作業できる  
服装でご参加ください

イベント及び研修等の詳細は、協会ホームページをご覧ください。  
<http://www.saitama-greenerytrust.com/>

さいたま緑のトラスト基金への

大口寄付者の皆様(十万円以上)

(平成十八年六月~八月)

【企業・団体】(財)埼玉県建築住宅安全協会、(有)守設計、(株)中村工業所、アサヒホーム(株)、(株)熊谷環境分析センター、彩の国古本まつり実行委員会

【個人】平沼康彦、今成定弘、森泉喜一

〔順不同、敬称略〕

大変ありがとうございました。

新しく会員になられた方々

(平成十八年六月~八月)

【法人会員】カップ・クリエイト(株)、日産ディゼル工業(株)、望月印刷(株)、隠地土木(株)、東大宮自治会、(社)嵐山町シルバー人材センター、(有)中村家支店、彩の国さいたま魅力づくり推進協議会、クシダ緑化産業(株)、埼玉県信用保証協

会、秩父広域森林組合、(株)広野、石井商工(株)、(社)埼玉県緑化推進委員会、NPO法人加治丘陵山林管理グループ、関東図書(株)、(有)みづほ不動産鑑定、(株)織田興業、中武不動産鑑定(株)、西川広域森林組合、坂戸ガス(株)、(福)幸仁会川本園、よりいコンポスト(株)、カネパッケージ(株)、(有)オカベ工芸、(有)森林スマイル企画、イースタープランニング(有)、(株)清香園、児玉清掃(株)、(株)ビージーエンジニアリング 〔順不同、敬称略〕

【永年会員】 二十一名

【個人会員】 三百二名(内学生会員十七名)

【グループ会員】 二百五名(二十八グループ)

【家族会員】 二百三十五名(六十一家族)

会員になっていただきまして誠にありがとうございます。

会員募集中!

おかげさまで緑のコバトンプレゼントキャンペーンは終了とさせていただきます。今後ご入会いただきました方には協会マスコットのどんぐりぼうやのキーホルダー(間伐した竹を使用)をプレゼントさせていただきます。引き続き緑のトラスト運動をご支援くださいますようお願いいたします。



どんぐりぼうや

第八回さいたま緑のトラスト写真コンクール

緑のトラスト保全地を対象にした自然環境、自然とのふれあい、保全管理活動などをテーマにした写真を募集しています。

規格・キャビネ版カラー写真(デジタルカメラの撮影も可)お一人様四点以内とさせていただきます。紅葉のトラスト地を訪ねて、ぜひ緑のトラスト写真コンクールにご応募ください。応募期間・平成十八年十二月十五日(金)必着。  
写真コンクールの詳細は左記ホームページをご覧ください。<http://www.pref.saitama.lg.jp/A09/BD00/konku-ru/konku-ru.html>

さいたま緑のトラスト協会の大口法人会員・寄附者の皆様(十万円以上)

【大口法人会員】(社)埼玉県法人会連合会、(株)埼玉りそな銀行、(株)武蔵野銀行、(株)UDK  
【寄附者】柳原政一、藤原恒男、マルキュー(株) 〔順不同、敬称略〕

地球と人にやさしい緑のトラスト運動応援団体・企業

(株)サイサン	〒三三三〇一〇八五四
さいたま市大宮区桜木町一―十一―五	電話 〇四八―六四―八二二一
(株)むさしビルクリナー	〒三三三六―〇〇六一
さいたま市浦和区常盤三―三―九	電話 〇四八―八三三―八一八一
(社)川口法人会	〒三三三三―〇八四四
川口市上青木三十二―八―八 埼玉県産産技術総合センター七階	電話 〇四八―二六三―三四七四

速くて、丁寧、皆様の御要望に幅広くお応えします。

印刷/企画・デザイン・編集・翻訳/出版

関東図書株式会社

〒336-0021 さいたま市南区別所三―一―十  
電話 〇四八(八六)二二九〇(代)